

2018年8月6日

公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

## 2018年度環境分野の博士号取得支援「学術研究助成」助成先の決定

公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団（理事長：二宮雅也、以下「損保ジャパン日本興亜環境財団」）は、国内の大学院博士課程に所属する研究者を対象とした「学術研究助成」制度の2018年度助成先5件を決定しました。

### 1. 学術研究助成の概要

弊財団の学術研究助成制度は、環境をテーマとする意欲に満ちた優秀な若手研究者を支援し、「総合学としての環境学」の確立に寄与することを目指して、2001年からスタートしています。国内の大学院博士課程に在籍する35歳以下の研究者の環境分野の研究を対象としており、2017年度までに合計82名の方に助成を行っています。

（助成実績）

[https://sjnkef.org/academic/academic\\_kako.html](https://sjnkef.org/academic/academic_kako.html)

### 2. 2018年度助成先（助成金額1件あたり30万円）

助成先	所属大学院名	研究テーマ
杉本 康太	京都大学大学院 経済学研究科	発送電分離政策の実証分析
杜 依濛	神戸大学大学院 経済学研究科	中国における固定価格買取制度が再生可能エネルギーの立地選択および電力の生産に与える影響に関する研究
小林 大輝	京都大学大学院 アジア・アフリカ地域研究研究科	ケニアのカカメガ森林保護区の近隣住民により薪の調達と利用に関する研究
張 砦	京都大学大学院 経済学研究科	電力産業における気候政策ミックスのダイナミックな効率向上：技術革新の誘発の役割
阿部 達也	早稲田大学大学院 経済学研究科	東京都排出権取引制度の事後評価

### 3. その他

制度の詳細につきましては、損保ジャパン日本興亜環境財団の公式ウェブサイトをご参照ください。 <https://www.sjnkef.org/academic/academic.html>

以上